

あなたとFUJIを見つめるLIVE MAGAZINE
2008.NOVEMBER

Face to Face

【フェイストゥフェイス】
笑顔でつなぐコミュニケーション

望月さん 武士道とは何ですか？

静岡県剣道連盟 専務理事
剣道教士八段 望月照夫

お気に入り SHOP
FUJI

で見つけた素敵なお店

GOURMET

グルメ

なお店がたくさんあります

ユニー富士吉原店
働く女性は輝いていました

Book information

読書の秋ですね お薦めの本がありますよ

Smile3

石川さんのご家族を紹介します

Happy present

ゆらぎの里 入浴チケット



剣道 教士 八段

望月 照夫 もちづきてるお

富士市大渕在住 62歳

ステンレス・アルミ・チタンといった非鉄金属の溶接継ぎ手メーカー、富士アセチレン工業(株)専務取締役。剣道は54年のキャリアをもち、現在は静岡県剣道連盟専務理事、富士市剣道連盟副会長を務める。剣道の指導にあたる他、国際的な活動や、富士市に武道場をつくる活動などその活躍の幅は広い。



「如富士 —ごとしふじ—

みんななろう(3776)富士山のように

「武士道とは相手を尊重し敬うもの。ですから日本武道は礼に始まり礼に終わります。昨今の剣道をはじめ柔道や相撲など日本国技では武士道精神よりも勝負を選ぶ傾向があります。よく見かけるのが勝利したときにガツッポーズする光景。しかもまだ終わりの礼をする前にポーズをとるなど本当に残念です。相手の選手に対して大変失礼な行為だと思います。勝負の世界なので勝つことも目的の一つですが、勝ち負けよりも本当に大切なものがあります。勝負は相手がいるから出来るものであり、相手なくして勝負はできません。剣を交え相手に打たせもらつた、また相手から打つもらつた、教えてもらつた、と勝負してくれた相手を尊重し敬いおかげ様と感謝をする気持ちを忘れてはいけないと常々指導しております。私が教えたい剣道はまさに武士道精神なのです。」

望月さんは国内のみならず、世界にも剣道を発展させようと、尽力を尽くしている方。海外からの剣士を富士市に招き稽古をつけ、日本の文化、礼儀、武士道を伝えている。今年の12月にはイタリアから要請を受けて、現地の剣士の指導にも行くそうだ。

「剣道は『気剣体一致』で初めて1本となります。剣の打つ箇所、開山した寺。白隱は五百年に

龍沢寺は「白隱 慧鶴」(1864~1769)が1763年に

86(1769)が1763年に

836~1888)が三島の龍沢寺

で修行し、大悟をした際に詠った詩

「晴れてよし 曇りてもよし 富士の山 もとの姿は 変わらざりけり」に感銘をうけたことから

思ついたそだ。

「白隱 慧鶴」(1864~1769)が1763年に

836~1888)が三島の龍沢寺

で修行し、大悟をした際に詠った詩

「晴れてよし 曇りてもよし 富士の山 もとの姿は 変わらざりけり」に感銘をうけたことから

思ついたそだ。

「白隱 慧鶴」(1864~1769)が1763年に

836~1888)が三島の龍沢寺

で修行し、大悟をした際に詠った詩

「晴れてよし 曇りてもよし 富士の山 もとの姿は 変わらざりけり」に感銘をうけたことから

思ついたそだ。

「白隱 慧鶴」(1864~1769)が1763年に

836~1888)が三島の龍沢寺

で修行し、大悟をした際に詠った詩

「晴れてよし 曇りてもよし 富士の山 もとの姿は 変わらざりけり」に感銘をうけたことから

思ついたそだ。

「白隱 慧鶴」(1864~1769)が1763年に

836~1888)が三島の龍沢寺

で修行し、大悟をした際に詠った詩

「晴れてよし 曇りてもよし 富士の山 もとの姿は 変わらざりけり」に感銘をうけたことから

思ついたそだ。

「白隱 慧鶴」(1864~1769)が1763年に

836~1888)が三島の龍沢寺

で修行し、大悟をした際に詠った詩

「晴れてよし 曇りてもよし 富士の山 もとの姿は 変わらざりけり」に感銘をうけたことから

思ついたそだ。

「白隱 慧鶴」(1864~1769)が1763年に

836~1888)が三島の龍沢寺

で修行し、大悟をした際に詠った詩

「晴れてよし 曇りてもよし 富士の山 もとの姿は 変わらざりけり」に感銘をうけたことから

思ついたそだ。

「白隱 慧鶴」(1864~1769)が1763年に

836~1888)が三島の龍沢寺

で修行し、大悟をした際に詠った詩

「晴れてよし 曇りてもよし 富士の山 もとの姿は 変わらざりけり」に感銘をうけたことから

思ついたそだ。

「白隱 慧鶴」(1864~1769)が1763年に

836~1888)が三島の龍沢寺

で修行し、大悟をした際に詠った詩

「晴れてよし 曇りてもよし 富士の山 もとの姿は 変わらざりけり」に感銘をうけたことから

思ついたそだ。

「白隱 慧鶴」(1864~1769)が1763年に

836~1888)が三島の龍沢寺

で修行し、大悟をした際に詠った詩

「晴れてよし 曇りてもよし 富士の山 もとの姿は 変わらざりけり」に感銘をうけたことから

思ついたそだ。

「白隱 慧鶴」(1864~1769)が1763年に

836~1888)が三島の龍沢寺

で修行し、大悟をした際に詠った詩

「晴れてよし 曇りてもよし 富士の山 もとの姿は 変わらざりけり」に感銘をうけたことから

思ついたそだ。

「白隱 慧鶴」(1864~1769)が1763年に

836~1888)が三島の龍沢寺

で修行し、大悟をした際に詠った詩

「晴れてよし 曇りてもよし 富士の山 もとの姿は 変わらざりけり」に感銘をうけたことから

思ついたそだ。

「白隱 慧鶴」(1864~1769)が1763年に

836~1888)が三島の龍沢寺

で修行し、大悟をした際に詠った詩

「晴れてよし 曇りてもよし 富士の山 もとの姿は 変わらざりけり」に感銘をうけたことから

思ついたそだ。

「白隱 慧鶴」(1864~1769)が1763年に

836~1888)が三島の龍沢寺

で修行し、大悟をした際に詠った詩

「晴れてよし 曇りてもよし 富士の山 もとの姿は 変わらざりけり」に感銘をうけたことから

思ついたそだ。

「白隱 慧鶴」(1864~1769)が1763年に

836~1888)が三島の龍沢寺

で修行し、大悟をした際に詠った詩

「晴れてよし 曇りてもよし 富士の山 もとの姿は 変わらざりけり」に感銘をうけたことから

思ついたそだ。

「白隱 慧鶴」(1864~1769)が1763年に

836~1888)が三島の龍沢寺

で修行し、大悟をした際に詠った詩

「晴れてよし 曇りてもよし 富士の山 もとの姿は 変わらざりけり」に感銘をうけたことから

思ついたそだ。

「白隱 慧鶴」(1864~1769)が1763年に

836~1888)が三島の龍沢寺

で修行し、大悟をした際に詠った詩

「晴れてよし 曇りてもよし 富士の山 もとの姿は 変わらざりけり」に感銘をうけたことから

思ついたそだ。

「白隱 慧鶴」(1864~1769)が1763年に

836~1888)が三島の龍沢寺

で修行し、大悟をした際に詠った詩

「晴れてよし 曇りてもよし 富士の山 もとの姿は 変わらざりけり」に感銘をうけたことから

思ついたそだ。

「白隱 慧鶴」(1864~1769)が1763年に

836~1888)が三島の龍沢寺

で修行し、大悟をした際に詠った詩

「晴れてよし 曇りてもよし 富士の山 もとの姿は 変わらざりけり」に感銘をうけたことから

思ついたそだ。

「白隱 慧鶴」(1864~1769)が1763年に

836~1888)が三島の龍沢寺

で修行し、大悟をした際に詠った詩

「晴れてよし 曇りてもよし 富士の山 もとの姿は 変わらざりけり」に感銘をうけたことから

思ついたそだ。

「白隱 慧鶴」(1864~1769)が1763年に

836~1888)が三島の龍沢寺

で修行し、大悟をした際に詠った詩

「晴れてよし 曇りてもよし 富士の山 もとの姿は 変わらざりけり」に感銘をうけたことから

思ついたそだ。

「白隱 慧鶴」(1864~1769)が1763年に

836~1888)が三島の龍沢寺

で修行し、大悟をした際に詠った詩

「晴れてよし 曇りてもよし 富士の山 もとの姿は 変わらざりけり」に感銘をうけたことから

思ついたそだ。

「白隱 慧鶴」(1864~1769)が1763年に

836~1888)が三島の龍沢寺

で修行し、大悟をした際に詠った詩

「晴れてよし 曇りてもよし 富士の山 もとの姿は 変わらざりけり」に感銘をうけたことから

思ついたそだ。

「白隱 慧鶴」(1864~1769)が1763年に

836~1888)が三島の龍沢寺

で修行し、大悟をした際に詠った詩

「晴れてよし 曇りてもよし 富士の山 もとの姿は 変わらざりけり」に感銘をうけたことから

思ついたそだ。

「白隱 慧鶴」(1864~1769)が1763年に

836~1888)が三島の龍沢寺

で修行し、大悟をした際に詠った詩



毎週木曜日は望月さんの指導を受けたいと志願する有段者の方たちが集まる。

中村 彰斗 富士市大野新田在住
なかむら あきと



電機関係の商社に勤務する営業マン。映画鑑賞が趣味で、よく行くレストランは「ボーライズ」(富士市厚原)。15年ほどのキャリアを持つ、剣道一筋の男性だ。

「近所に住む剣道の先生に誘われ始めました。今では先輩や後輩が多くでき、仲間同士で飲みに行ったりもします。先輩に礼儀などを教えていただき、社会人になつてから役立っています。冬の寒稽古では、何ごとも最後まで諦めない、我慢してやり抜くことを学びました。今後は更に練習を積み、皆から信頼される大人になれるよう努力していきたいです。」

丹田呼吸法とは

「丹田呼吸法」は、お釈迦様が心身を丈夫にされ、悟りを開くもとになった呼吸法です。当時としてはかなりの長寿である80歳で亡くなるまで、この呼吸法を続けられたといわれています。

丹田呼吸法は、深い呼吸と同時に、内臓の血行、体の血行をよくします。さらに体の中心線の表と裏にあるツボにも、直接的あるいは間接的に刺激を与え、ツボを活性化するものです。

丹田とはだいたいおへそから握りこぶし程度下がった所です。この丹田部分に軽く両手を添えて丹田を意識しながら呼吸するのです。姿勢は立ってでも座ってでもどちらでもかまいません。最初は口を尖らせてこの丹田からしほり出すような気持ちでゆっくりと息を吐きます。息を吐き出すにつれてお腹が凹み腹筋が少し固くなっています。お腹と背中をくっ付ける気持ちでゆっくりと最後まで息を吐き切ります。次に息を吸う時は添えた手を軽く意識しながら丹田を膨らませるようにして、鼻からゆっくり大きく吸い込みます。丹田呼吸法とはこれの繰り返しだけですが、息を吸う時はどうしても身体に力が入りがちなので肩の力をストンと抜いて、リラックスして行うのがコツです。少し慣れてくると両手を腰にやって意識だけを丹田に持っていくやり方も良いのです。この場合は息を吐く時に少し腰を垂直に落とすと丹田に力がほどよく入り、より効果的です。現代人は忙しく、なかなか時間がとれませんが、パソコンに向かいながらなど、工夫をしているうちにうまくいくようになります。



保科 俊子 富士市元町在住
ほしなとしこ

親子の関係も剣道を始め、変わったと思いますね。たまに、言葉がなくとも相手の気持ちが解りすぎるくらい、通じるときがあります。これからも一緒に切磋琢磨していく仲間として、共に頑張っていきたいです。」

竹刀を打つ音
床を踏みつける足音
気合いを入れる声
迫力のある
練習風景に圧倒される



クローズ
アップ フジ

CLOSE-UP Fuji

Information(連絡先)

0545-35-1247 (望月)